

平成 22 事業年度事業状況報告書（事業部）

平成 22 事業年度における事業部の事業状況は、次のとおりである。

【一般会計(1)】

公益事業については、収益事業からの繰入金と基本財産の運用利息をもって、次の事業を実施した。

1．交通安全普及事業

高速道路利用者への交通道德の高揚を図るため、以下の事業を行った。

(1) 交通安全イベントへの協賛

2．道路広報事業

高速道路利用者に係る公衆知識の普及を図るため、以下の作成配布を行った。

(1) 首都高マップ

(2) カードカレンダー

3．寄付

公益の精神にたち広く公益に寄与することを目的とし、交通事故などによる遺児等への奨学制度への寄付活動を行った。

以上、公益事業に係る収支予算額 20,102 千円に対し、収入決算額 20,962 千円 (104.3%)、支出決算額 29,526 千円(146.9%)となった。

【一般会計(2)】

収益事業については、次の事業を実施した。

1．自動販売機設置管理

自動販売機の設置管理業務を行った。

2．他会計からの繰入金

特別会計(1)(一般共済事業)から共済利息収入(貸付利息収入)、共済手数料収入(保険取扱手数料等)の繰入を行った。

以上、収益事業に伴う収支予算額 49,538 千円に対し、収入決算額 46,391 千円 (93.6%)、支出決算額 38,712 千円(78.1%)となった。

平成 22 事業年度事業状況報告書（共済部）

平成 22 事業年度における共済部の事業状況は、次のとおりである。

【特別会計(1)】

一般共済事業については、会費、助成金及び貸付回収金等の財源をもって次の事業を実施した。

1．共済貸付

会員の慶弔、その他臨時の出費に対する共済貸付事業を行った。

なお、利息収入については、一般会計(2)（収益事業）への繰出を行った。

2．物資斡旋

生活物資の購入及び斡旋について、物資立替払を行った。

3．ライフサポート

会員の福利厚生のため、首都高速道路株式会社及び首都高速道路健康保険組合とともに福利厚生運営会社と契約し、同社の提携施設等の利用に係る費用補助を行った。

4．住宅資金の貸付

会員の居住を目的とした土地の購入、住宅の取得、修繕、借換等に際し、住宅資金の貸付事業を行った。

なお、利息収入については、一般会計(2)（収益事業）への繰出を行った。

5．共済給付

会員の慶弔、傷病及び災害に際しての共済給付事業を行った。

6．保険の取扱い

個人契約の各種保険の団体事務取扱いの事業を行った。

なお、事務手数料収入については、一般会計(2)（収益事業）への繰出を行った。

以上、一般共済事業に伴う収支予算額 359,178 千円に対し、収入決算額 525,121 千円（146.2%）、支出決算額 533,221 千円（148.5%）となった。

【特別会計(2)】

特別共済事業については、本年度の特別甲慰金等の給付対象者はなかった。収支予算額 31,445 千円に対し、収入決算額 1,533 千円（4.9%）、支出決算額 0 千円となった。